

BPSD 気づき質問票 57 項目版 (BPSD-NQ57) 解説

【目的】

この質問票は、認知症の行動・心理症状 (behavioral and psychological symptoms of dementia; BPSD) が出現する前の徴候 (予兆) やごく軽度な BPSD に気づくための質問票です。これらに早期に気づいて対応することで BPSD を予防することを目的としています。

【記入・集計方法】

認知症の対象者のことをよく知る介護者などが、対象者の過去 1 週間の状態について思い出しながら評価をします。評価は、各質問項目の症状があれば「○」をつけます。不安 (11 項目)、脱抑制 (7 項目)、常同行動 (3 項目)、易怒性 (5 項目)、興奮 (5 項目)、もの盗られ妄想 (6 項目)、幻覚 (6 項目)、無関心・アパシー (6 項目)、うつ (8 項目) のカテゴリーで構成されているため、カテゴリーごとの「○」の数をカテゴリー点とします (例: 「○」が 3 つで 3 点)。また、57 項目の合計点も算出できます。

評価票の最後にあります「<スタッフ記載欄>背景・状況チェック」は、スタッフ (介護職など) が、現在の対象者の状態について、「○」をつけるなどご記入ください。

※記入所要時間は約 4 分です。

※次ページ以降を印刷して、評価用紙としてお使いください。

【活用方法例】

①介護現場

- ・入所時や状態が変化したときなどにチェックしておくことで、対象者の状態や変化を共有することができます。
- ・「○」が多くついたカテゴリーは、その BPSD が出現する可能性があるため、早期に変化などに気づいて対応することで、BPSD を予防します。
- ・複数名で質問票をチェックすることで、介護職員間の視点を共有できます。
- ・新人スタッフにチェックしてもらうことで、気づきや着眼点の教育につながります。
- ・「<スタッフ記載欄>背景・状況チェック」も記入することで、BPSD の出現にかかわる背景要因に気づき、対処することができます。

②研究発表

- ・信頼性・妥当性の証明された評価尺度ですので、事例検討や研究での効果評価にご活用ください。
- ・ご活用の際には、下記の文献を引用文献としてご記載ください。

【著作権】ウェブで無料公開しています。医療・介護の実践や研究には申請不要で自由にお使いいただけます。ただし文言等の修正は不可です。学会発表や原著論文、総説、教科書には下記文献を引用してください。商用目的の場合は、著作権を有する認知症介護研究・研修東京センター (soumu.tokyo-dcrc@dcnet.gr.jp) への申請・許諾が必要です。

※2021.08.28加筆

【文献】藤生大我，内藤典子，滝口優子，他：BPSD 予防をめざした「BPSD 気づき質問票57 項目版 (BPSD-NQ57)」の開発。認知症ケア研究誌 3：24-37，2019。

BPSD 気づき質問票 57 項目版 (BPSD-NQ57)

記入日 年 月 日; ID 評価者 (関係)

対象者: 対象者年齢: 歳 性別: 男 ・ 女

＜家族等介護者記載欄（複数回答可）＞

○1 週間の様子を振り返って、下記の項目であてはまるものに○印をつけてください。 /57

- 1) 不安 /11
- 不安そうな表情や仕草である
 - 不安そうでそわそわしている、落ち着きがない
 - 同じことを短時間で繰り返し質問する、訴える
 - 昔の心配事を蒸し返す
 - 謝罪や感謝の言葉を多発する
 - 他者（家族・スタッフ・利用者等）にまとわりつく
 - 家族の居場所を何度も尋ねる
 - 音等の刺激に敏感になる
 - 日付などを何度も確認する
 - 家族・スタッフが見えないと何度も呼ぶ／頻回のナースコール
 - こわくて独りで眠れない
- 2) 脱抑制 /7
- じっとしている必要がある場面でもじっとしてられない
 - いきなり怒る
 - 転導性（注意が続かない、興味が変わる）
 - スイッチが入ったように突拍子もなく何かを始める
 - 気が散りやすい
 - 出しゃばろうとする
 - 他人（お店）の物を悪びれず取る
- 3) 常同行動 /3
- うろうろしている
 - 今までにない行動を頻度高く繰り返す
 - こだわりが出た（同じものしか食べない・表情が険しい）
- 4) 易怒性 /5
- イライラしていることが読み取れる
 - 今までなかったことで文句を言う
 - 些細なことで声を荒げる
 - 気短な性格である
 - 動作が荒々しくなる
- 5) 興奮 /5
- 視線を合わせないなど不満げである（不同意メッセージ）
 - 声をかけても聞こえないふりをする（不同意メッセージ）
 - 自分の気持ちを抑えようと、呼吸が荒々しくなる
 - 介助を振り払う（不同意メッセージ）
 - 非協力的になった

- 6) もの盗られ妄想 /6
- 周囲の人を責めたり、その人の悪口を別の人に言う
 - 見つからないものを他人が片付けたせいにする
 - 失敗が増えて、自信が損なわれている
 - 自分の持ち物などを確認したり、あるかどうか調べてまわる
 - 疑うような表情をしている
 - 大切な物を肌身離さず持ち歩く
- 7) 幻覚 /6
- 何かが居るかのごとく一点を指したり、一点をジーと見る
 - ないものをあると言い張る
 - 最近見間違いをすることが増えた
 - 行きたがらない場所（部屋）ができた
 - 適切ではない物の使い方（裏返して置いてある、違う方を向けて置いてある）
 - (何か見えている様で、) 用意されたご飯を食べない
- 8) 無関心・アパシー /6
- 寝てばかりいる
 - 趣味を辞めた
 - 勧めても挑戦・参加しない（“もういいよ”と返す）
 - 外出の頻度が減った
 - 周囲への関心を示さない
 - 動くことを面倒くさがる
- 9) うつ /8
- 悲しそうな表情や仕草
 - 暗い声、小声で話す
 - “迷惑をかけている” “みっともない” “死んだほうがよい” などの発言がある
 - 口数が減った
 - 下を向いていることが増えた
 - 自信を無くしたと言う
 - 笑わない、声かけに反応が鈍い
 - “ばかになった” などの発言が多い

<スタッフ記載欄（複数回答可）>背景・状況チェック あてはまる項目に○をつける。

病型	アルツハイマー型、血管性、レビー小体型、行動障害型前頭側頭型、意味性、正常圧水頭症、他（ ）； せん妄合併：有・無
体調	発熱、疼痛、食欲不振、便秘、脱水、寝不足、搔痒感、良好
交流	視力低下、聴力低下、失語症、構音障害、良好
元の性格	短気（職人氣質）、気丈、神経質、こだわり（几帳面）、普通
移動能力	独歩（杖含む）、歩行車・歩行器で独歩、伝い歩き、介助歩行、車椅子
同居者	施設入所、 在宅：なし、配偶者、子供、子供の配偶者、孫、兄弟姉妹、その他（ ）
特記事項	生活環境の変化：有（ありの場合いつ、何が、を記載）・無
認知症薬 （商品名）	ドネペジル（ ）mg ガランタミン（ ）mg リバスタチン（ ）mg マンチン（ ）mg (アリセプト®) (レミニール®) (イクセロン®, リバスタッチ®) (メマリ-®)